

# 美術科学習指導案

指導者 重本 優紀

- 1 日 時 令和5年7月6日(木) 第6校時(15:05~15:55)
- 2 学年・組 中学校第2学年2組 計39名(男子14名, 女子25名)
- 3 場 所 中学校美術室
- 4 題 材 名 メッセージを伝える
- 5 題材について

本題材は、学習指導要領(平成29年告示)美術第2学年の内容B鑑賞(1)ア(イ)に重点を置いて指導を行う。鑑賞作品は佐藤可士和氏が2022年にデザインした「ヒロシマ・アピールズ」のポスターを取り扱う。身近に見られるポスターの中にはデザインの工夫がたくさんあり、生徒が日常生活の中でその働きに気づくことができれば、デザインのよさや美しさ、形や配色の工夫を知る学びの場が増える。2022年の「ヒロシマ・アピールズ」は、文字の大きさに変化がある、文字の一部を黄色い丸の形に置き換える、という特徴のあるポスターである。特徴がシンプルな形であり、生徒が美術の働きに気づいたり、表現の意図を様々な視点から想像したりすることができるポスターであると考えられる。また、「ヒロシマ・アピールズ」は、世界に平和を呼びかける取り組みとして毎年一人のデザイナーが平和をテーマにポスターをデザインしているものである。広島に生きる子供として、世界の平和について考え、社会に働きかけるデザインについて考えを深められるような機会としたい。

本学級の生徒は、自分の意見を相手に伝えることに対して意欲的で、グループ学習においても活発に意見を交流する様子が見られる。一方で、自信がないためにかくことをためらったり、活動が止まってしまう生徒も若干名いる。1学年時に色の性質や文字のデザインについて学習しており、色彩が見る人に与える影響や、文字の形や色彩で伝わる情報について考えた。また、構成美の要素についての学習では、美しさを感じる形や色彩の工夫について考えた。本題材では、既習の学習を使ってポスターを鑑賞し、今後の自身の制作に生かすことを目的とする。構成美の要素などを基に構図のよさを考えたり、色の性質が生かされた配色のよさに気づいたりする活動を通して、どのような工夫をすれば自分の思いを形にすることができるのか、という思考につなげられるようにしたい。

指導に当たっては、公共の場にあるポスター(展覧会)を紹介し、形や色彩の工夫が見る人にどのように働きかけるかについて考える活動を取り入れる。形や配色の工夫がデザインのよさとなり、人の心を動かすことにつながることを紹介することで、「ヒロシマ・アピールズ」ポスターで考えたい視点を共有できるようにする。「ヒロシマ・アピールズ」ポスターについては、2段階に分けて考えを深められるようにする。はじめは「平和」というテーマに重点を置くのではなく、形や色彩に注目して感じることを話し合う活動を取り入れる。その後、「ヒロシマ・アピールズ」の取り組みを紹介し、改めて作者が「平和」というテーマをどのように伝えようとしているかについて話し合う活動を取り入れる。はじめに感じたことが、伝えたいテーマとどのように関わっているかを考えることで、作者の思いやデザインのよさについての見方や感じ方を深められるようにしていきたい。

## 6 題材の目標

- (1) 形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、ポスターが伝えたいテーマを全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。
- (2) ポスター作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて総合的に考えるなどして、見方や感じ方を深める。
- (3) 社会に働きかけるポスターのデザインに関心をもち、主体的に鑑賞する活動に取り組もうとする。

## 7 指導計画（全1時間）

時	学習内容
1	「ヒロシマ・アピールズ」ポスターの鑑賞（本時）

## 8 本時の目標

形や色彩に注目して、ポスターのよさや美しさ、伝えたいテーマについて考えを深める。

## 9 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
<p>1. 導入（10分）</p> <p><input type="checkbox"/> 提示された展覧会ポスターを見て特徴や感じ方について話し合う。</p> <p><input type="checkbox"/> 本時の目標を確認する。</p>	<p>○形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴を基に意見を出すよう促す。</p> <p>○共有した視点を基に考えを深められるよう確認する。</p>
<p>形や色に注目して、ポスターが伝えたいことについて考える。</p>	
<p>2. 展開（35分）</p> <p><input type="checkbox"/> 2022年の「ヒロシマ・アピールズ」を見て、形や色彩に注目して考えたことをワークシートに記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 考えたことを4人グループで交流し、ロイロノートにまとめる。</p> <p><input type="checkbox"/> 交流した内容を全体で共有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 「ヒロシマ・アピールズ」がつくられた背景について知り、改めて作者の表現の意図について考えワークシートに記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 考えたことを4人グループで交流し、ロイロノートにまとめる。</p> <p><input type="checkbox"/> まとめた内容を全体で共有する。</p>	<p>○文字の情報だけでなく、形や色彩に注目することを確認する。</p> <p>◆形や色彩の特徴を基にポスターの工夫点を書いている。【知識・技能】</p> <p>○記録係を決めて4人グループの意見をわかりやすくまとめられるように指示する。</p> <p>○ロイロノートのデータを共有して、いくつか取り上げ紹介する。</p> <p>○ポスターの歴史を紹介し、作者の表現の意図について考えを深められるよう支援する。</p> <p>○思考のつながりがわかるように記号などを使って工夫することを伝える。</p> <p>◆表現の意図や美術の働きなどを総合的に考え見方や感じ方を深めている。【思考・判断・表現】</p>
<p>3. まとめ（5分）</p> <p><input type="checkbox"/> 活動を通して、ポスターのデザインのよさやポスターを制作する際の視点について考えたことをまとめる。</p>	<p>○2021年の「ヒロシマ・アピールズ」ポスターを紹介し、様々な表現方法があることを伝える。</p> <p>◆社会に働きかけるポスターのデザインに関心をもち、鑑賞を通して考えたことを具体的に書いている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>

## 10 授業の分析

本題材では、生徒がポスターにデザインされた形や色彩から、伝わる感情やテーマについて具体的に書いたり、話し合ったりして自分の考えを深めていることを評価基準に設定した。生徒が目標を達成できるようにするための指導の手立てとして、ポスターについて自分自身の考えと作者が意図していることの二つを意識できるように話し合いの場を設けること（授業構想についての手立て）、また、生徒の発言を基に、生徒の考えと作者の意図との関連について思考をつなげられるように支援すること（授業実践についての手立て）に取り組んだ。

協議会では、生徒の姿をもとにこの手立てが有効であったかどうか協議を行った（表1）。

表1 協議内容（一部抜粋）

（手立て1）ポスターについて自分自身の考えと作者が意図していることの二つを意識できるように話し合いの場を設ける
（生徒がよく活動していた場面） ○考えることが細分化されていることで何について思考を深めればよいのか明確になっていた ○話し合いやすく情報量も多すぎない ○今まで学んだ内容を生かすことができる内容だったので生徒も考えやすかった
（支援が必要だった場面） ●ワークシート（2）への記入場面で共有した意見が見える状態で書き始めると筆が止まる生徒への支援になるかも ●生徒の活動の中、そのポスターが訴えるものに気づき、その中に色や形が視点として出てくる流れの方が主体的では
（手立て2）生徒の発言を基に、生徒の考えと作者の意図との関連について思考をつなげられるように支援する
（生徒がよく活動していた場面） ○黄色のイメージを伝えていたので最後の意見の時に黒のイメージも伝えた上で発表していた。そこが最後の作者のイメージへとつながった。 ○一回生徒に考えさせて発表してもらった後に追加で発問することでそれまでうまくかけなかった生徒も書けるようになっていた ○色のもつ印象を交流したとき ○導入のポスター鑑賞後に「今日はそういうことを見ていくよ」という声かけがあって生徒が本時の見通しをもつことができた/生徒のことばから始まったからよかった ○導入での確認をしたことで学習全体の見通しをもつことができた
（支援が必要だった場面） ●各班の意見をタブレット上で共有できれば多様な視点を生徒がもつことができるのでは ●ロイロでの意見交流は教員が選択するため誘導的になるのではないか

協議会では、生徒が何を考えたらいかがが明確になっていたため思考が深まったと考えられる反面、「形と色彩」の視点を初めから意識させることで生徒の主体性が狭まったのではないかという意見が出た。指導者は評価の観点を生徒と共有したいという思いと時間配分を考えて、初めから「形と色彩」を意識させることに重点を置いていた。改善点として、生徒が主体的に課題に取り組めるようにするために、導入のポスターについて考える場面でもっと自由に意見を出し合い、そこから視点を絞っていく授

業展開が考えられる。

次に、生徒の記述について、形や色彩に関する特徴を挙げてそこからイメージする内容と作者が伝えたい思いをつなげて考えることができている場合をA、形や色彩に関する特徴からイメージする内容を具体的に考えることができている場合をB、形や色彩に関する特徴とポスターに込められた思いについて挙げていないが、それぞれをつなげて書けていない場合をCとして達成度を見取った(表2)。

表2 A・Bの生徒の記述(一部抜粋)

A	<ul style="list-style-type: none"><li>・黄色の O である意味→戦争をなくすという言葉から黄色は明るい色であるため、広島が明るい街にそして明るい未来が来るようにという願いがこめられているのでは →O は輪でもあり、文字の字を変えれば平和の「和」、皆のつながりの「輪」でもある、皆が仲良く争いごとをしないようにという願いが込められているのでは</li><li>・黄色の丸になっていて目立つ→思いが強く、たくさんの人に伝えたい文字が紙の端から端まで書かれている →核兵器をなくす、戦争を終わらせるという思いが強い、この紙に収まりきらない</li><li>・文字を小さくしているところはどんどんこのような危険なものが消えることを願っている</li><li>・黒のイメージは…暗い、残酷、闇、深い悲しみ、苦しみ、無、などのマイナスなイメージが多いのに対して、黄色のイメージは…明るい、光り、輝き、希望、などのプラスのイメージが多いです。この二つを合わせることで「暗い場所にポツポツと明るいところ」闇の中に光があり、戦争から光へ向かうことがわかりやすい。</li></ul>
B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポスターを見て、明るい気持ちや優しい気持ちにできるように黄色を目立たせたり、ゴシック体を使って目につきやすくさせるようなデザインになっている</li><li>・たくさんの人にアピールするための配色や文字の形</li><li>・絶対見落としてほしくない場所は大きくなっている</li><li>・紙いっぱいの文字は意志の強さを表している</li><li>・黄色の丸は絶対にダメということを表している(禁止色も黄色だから)</li></ul>

記述から、授業ではどの生徒も形や色彩について特徴を書くことができている。また、これまで学んできた構成美の要素や色彩のイメージについて述べながら、具体的な自分の思いや作者の意図について考えることができている生徒がほとんどであった。Cにあたる生徒については、特徴とポスターが伝えたい思いが何かについて記述をすることはできているが、どの特徴が何を表しているかについては書くことができているが、学習の中で考えることはできたのではないかと推察する。

実践を通して、生徒は作品から様々な情報や思いを受け取っており、感じ取ったことをより具体的に相手に伝えたり表現したりできるよう指導していくことが大切であると改めて感じた。生徒の思考の過程をくみ取るために、思いを表出できるような題材選択や授業展開を今後も工夫していきたい。

【鑑賞作品】

 <p>セザンヌからウォーホル、草間彌生、奈良美智まで</p> <p>現代アート100年</p> <p>2022年 4/21 - 5/29</p> <p>広島県立美術館</p>	<p>展覧会ポスター「現代アートの100年」 2022年 広島県立美術館 (広島県立美術館ホームページより) <a href="https://www.hpam.jp/museum/exhibitions/%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%BE%8E%E8%A1%93%E9%A4%A8%E3%82%B3%E3%83%AC%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AE100%E5%B9%B4/">https://www.hpam.jp/museum/exhibitions/%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%BE%8E%E8%A1%93%E9%A4%A8%E3%82%B3%E3%83%AC%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AE100%E5%B9%B4/</a></p>
 <p>NO NUKES NO WAR HIROSHIMA APPEALS 2022</p>	<p>ヒロシマ・アピールズ「NO NUKES NO WAR」 2022年 佐藤可士和 (JAGDA HIROSHIMA ホームページより) <a href="https://hiroshima.jagda.or.jp/appeals_year.html">https://hiroshima.jagda.or.jp/appeals_year.html</a></p>
 <p>HIROSHIMA</p>	<p>ヒロシマ・アピールズ「HIROSHIMA」 2021年 大貫卓也 (JAGDA HIROSHIMA ホームページより) <a href="https://hiroshima.jagda.or.jp/appeals_year.html">https://hiroshima.jagda.or.jp/appeals_year.html</a></p>